

平成29年度各部の重点取組

部(局)名	消防本部
消防長名	村上 和則
理事名	笹野 光則（大規模特異災害担当）

【基本姿勢】

火災、救急など日常的に発生する災害のほか、昨年甚大な被害をもたらした熊本地震や、今後発生が懸念される南海トラフ大地震等の大規模災害に備え、消防に対する市民ニーズはますます高まっています。そのような状況の中、消防本部が取り組む施策・事業は、「災害に強く安全なまちづくり」に不可欠なものとして、これまで以上に推進していく必要があります。

消防本部では、各施策を進めるにあたり、中・長期的な目標を定め、より具体的で実行性のある事業計画を策定し、消防力の向上と市民から信頼される消防体制の構築に努めます。

【重点課題】

1	北消防署再整備
2	防火意識の普及啓発及び火災予防の推進
3	消防・防災体制の充実強化
4	救急救命体制の充実強化
5	救助体制の充実強化
6	消防通信指令業務の共同運用

【重点課題1】

北消防署再整備

(1) 目指すべき方向（中期的な目標）

大規模災害時に重要な活動拠点施設となる消防庁舎の再整備を推進します。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

- | | |
|---|---|
| ① | 庁舎の老朽化及び耐震化への早急な対応を踏まえ、北消防署の建替えを推進します。 |
| ② | 北消防署の移転建替えに伴い（仮称）北庁舎の整備を踏まえ、施設の複合化・集約化などを検討します。 |

イ 達成目標

- | | |
|---|--|
| ① | 北消防署の移転建替えに伴い（仮称）北庁舎の整備を踏まえ、基本構想・基本設計等の概算費用を算出します。 |
| ② | 北消防署の移転建替えに伴い（仮称）北庁舎の整備を踏まえ、整備スケジュールを具体的に検討します。 |

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	事業名	所管室・課
ア	北消防署再整備事業	総務予防室・企画グループ

【重点課題2】

防火意識の普及啓発及び火災予防の推進

(1) 目指すべき方向（中期的な目標）

火災予防等を推進し、火災の減少及び被害の軽減を目指します。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

- | | |
|---|--|
| ① | 住宅防火訪問等により、火災予防意識の高揚を図り、放火防止対策や住宅防火対策を推進します。 |
| ② | 防火対象物、危険物施設及び高圧ガス施設等への査察により、事故防止の徹底を図ります。 |

イ 達成目標

- | | |
|---|--|
| ① | 住宅用火災警報器の設置等を推進し、住宅火災による人的、物的被害を軽減します。 |
| ② | 査察における是正指導のほか、防火管理者講習会等により、自主的な防火管理体制等を確立させます。 |

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	事業名	所管室・課
ア	防火意識の啓発と普及事業	総務予防室・予防グループ
イ	予防査察・自主防火管理の充実事業	総務予防室・予防グループ
ウ	自主防火組織の育成強化事業	総務予防室・予防グループ

【重点課題3】

消防・防災体制の充実強化

(1) 目指すべき方向（中期的な目標）

地震等の大規模災害に対する消防・防災体制強化に努め、災害に強く安全なまちづくりを目指します。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

①	地域の自主消火組織及び事業所の自衛消防隊に対し訓練等を通じた育成強化を図ります。
②	地域実状に応じた可搬式小型動力ポンプや消防水利等を適正に配置します。

イ 達成目標

①	自主消火組織や自衛消防組織との連携を強化し、消防・防災における地域力の向上に努めます。
②	可搬式小型動力ポンプ等の計画的整備により、地域の初期消防活動体制の強化に努めます。

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	事業名	所管室・課
ア	可搬式小型動力ポンプ整備事業	警防救急室・警防グループ
イ	防火水槽整備事業	警防救急室・警防グループ
ウ	自衛消防組織の育成強化事業	警防救急室・警防グループ

【重点課題4】

救急救命体制の充実強化

(1) 目指すべき方向（中期的な目標）

救急隊の増隊も含めた救急救命体制の充実強化や応急手当普及啓発を推進し、救命率の向上を図ります。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

①	救急業務の高度化に伴う高度救命資器材の整備運用及び救急関連資格取得に伴う教育機関等への職員派遣を推進します。
②	AEDの使用も含めた救急講習を計画的に実施し、応急手当普及啓発活動を展開します。

イ 達成目標

①	救命率の向上に繋げるため、高度救命資器材の充実を推進し、医療機関との連携を充実強化し、救急隊員の資質向上を図ります。
②	日常生活の中で急病人に遭遇した場合や災害時に対応できるよう、住民一人ひとりの自主救護能力の向上を図ります。

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	事業名	所管室・課
ア	救急業務体制の整備事業	警防救急室・救急グループ
イ	高規格救急自動車等の資器材の整備事業	警防救急室・救急グループ
ウ	応急手当普及啓発事業	警防救急室・救急啓発グループ

【重点課題5】

救助体制の充実強化

(1) 目指すべき方向（中期的な目標）

特殊災害への対応能力の向上を推進します。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

- | | |
|---|--|
| ① | 災害医療機関（D-MAT）の研修参加や合同訓練を実施し、救助体制の高度化を図ります。 |
| ② | 高度救助資機材を活用した訓練を実施し、災害対応能力の向上を図ります。 |

イ 達成目標

- | | |
|---|---|
| ① | 災害医療機関（D-MAT）との相互連携を強化し、高度救助隊員の能力向上を図ります。 |
| ② | 高度救助資機材の取扱いに習熟し、万全な救助体制の構築を図ります。 |

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	事業名	所管室・課
ア	救助活動事業	警防救急室・救助グループ
イ	救助資機材等整備事業	警防救急室・救助グループ

【重点課題6】

消防通信指令業務の共同運用

(1) 目指すべき方向（中期的な目標）

消防通信指令施設を摂津市と共同で運用することで、消防力の効果的運用による市民サービスの向上を目指します。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

- | | |
|---|---|
| ① | 吹田市、摂津市の2市共同で高機能消防指令センターを維持管理し運用します。 |
| ② | 高機能消防指令センターの運用に伴い、災害事案、救急事案等に対応する確実性、迅速性を向上します。 |

イ 達成目標

- | | |
|---|---------------------------------------|
| ① | 災害活動における情報伝達の迅速化、効率化を図ります。 |
| ② | 高機能消防指令センターの多種多様な機能を活用し災害対応の迅速化を図ります。 |

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	事業名	所管室・課
ア	消防通信指令事務共同運用事業	指令情報室